



とうめい news

2022.1.1
Vol.245

〒248-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印刷:(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

あけましておめでとうございます

昨年につき、2年連続でコロナ禍の中で新年を迎えることになりました。横浜港にダイヤモンドプリンセス号が停泊し、多くの感染者が出てからまもなく2年になります。10月以降は感染も縮小傾向になってきましたが、年末になり新しい変異株が出現してきており、第6波の再燃に備え、子どもも感染対策を緩めることはまったくできない状況です。一般診療に支障が出ないように、引き続き感染対策には万全を期して対処して参りますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて当院は本年2月で開院20年を迎えます。平成14年2月に東名厚木病院の外来診療部門のクリニックとして、独立した施設で診療を開始しました。その後、平成19年から現在の敷地に移転しました。診療科の特性に合わせた外来ブースの配置、受付・会計などの作業迅速化、患者さんの待ち時間短縮に向けてのハード面の改善などに取り組んできました。しかしながら、一番重要なことは、開院以来のモットーである「地域の皆様に信頼され、愛されるクリニックであること」であるために、患者さんに親身に寄り添う姿勢で対応することだと思っております。今後も、幅広い専門診療科とかかりつけ医機能を併せ持つ地域密着型クリニックをスローガンに職員一丸となり、努力してまいります。

この10年で医療のあり方は激変してきております。その一つが、地域医療構想であり、地域包括ケアシステムの推進です。地域の皆様が住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしができるよう医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を包括的に受けられる支援体制が進められてきています。入院や在宅と異なり、クリニックは付き合いの密度は低いですが、人生の中で一番長く関わることになる医療資源です。今後、地域包括ケアシステムが推進されていく中で、長い信頼関係を築けるクリニック機能の役割を当院が提供できますよう尽力させていただきます。

最後に、本年が皆様にとって良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

とうめい厚木クリニック 院長 河野 昌史